大衆日報
大衆日報社
発行責任者：越川和恵
銚子市春日町3218-1
電　話0479(25)0030
ＦＡＸ0479(25)1100
電子メール
taishunippo@wine.ocn.ne.jp
購読料1カ月1,800円
郵　送1カ月2,700円

ガラスリソーシングさん

常陽銀行さんありがとう！

銚子市立 第四保育所のチビッコたちがお礼

お散歩カート“スワニー”と“ホームベンチ”寄贈

寄贈サービス付 私募債「未来の夢応援債」を活用！！

“おさんぽスワニー”と“ホームベンチ”寄贈を祝って記念撮影！

「ベンチとお散歩カートをいただき、ガラスリソーシングさん・常陽銀行さん、ありがとうございました。大切に使います！」と元気よくお礼のあいさつをするのは銚子市立第四保育所の年長・ぞう組の子どもたち。1歳児・うさぎ組のベビーたちがお散歩や緊急避難時に乗るノーパンクタイプの“おさんぽスワニー”や赤・黄・白のカラフルな“ホームベンチ”をプレゼントしてもらい、第四ッ子たちはニコニコ笑顔でいっぱいだ。

ガラスリソーシング㈱（伊藤憲一会長、赤坂修社長／本社…銚子市春日町）は㈱常陽銀行の寄贈サービス付私募債「未来の夢応援債」を活用して、5月10日（金）、銚子市立第四保育所に“おさんぽスワニー（6人シート）”1台と“ホームベンチ”4台を寄贈！

拍手で喜びを表現する年中児・きりん組の子どもたち

越川信一市長、川島仁一・㈱常陽銀行銚子支店長、赤坂修・ガラスリソーシング㈱社長がテープカット！

寄贈したガラスリソーシング㈱の赤坂修社長、㈱常陽銀行銚子支店の川島仁一支店長、寄贈を受けた越川信一市長が子どもたちが発するカウントダウンに合わせて華やかにテープカット!!可愛い赤ちゃん6人が“おさんぽスワニー”に初乗りしてお披露目するなど賑やかに寄贈式が行なわれた。

お礼のあいさつをする蒲口洋子・銚子市立第四保育所長

越川信一市長から感謝状を贈られる㈱常陽銀行銚子支店の川島仁一支店長

ガラスリソーシング㈱の赤坂修社長に越川信一市長が感謝状を贈呈

「ガラスリソーシング様、常陽銀行様ありがとうございます」と越川信一市長

「子どもたちも喜んでいます」と越川市長

越川市長は、「本日はガラスリソーシング様、常陽銀行様からベンチとお散歩カートを銚子市立第四保育所にご寄贈いただきました。子どもたちも大変喜んでおり笑顔いっぱいです。誠にありがとうございました」と述べ、ガラスリソーシング㈱と㈱常陽銀行に感謝状を贈呈し、次のようにお礼の言葉。

▼越川信一市長

これまで第四保育所で使用していたベンチは大変老朽化しており、足が腐りかけておりました。本日、カラフルかつ安全・安心なホームベンチを4台もご寄贈いただき、誠にありがとうございます。

一方、お散歩カートは今までは4人乗りだけしかありませんでしたが、6人乗りが増えることで万が一の災害時の避難誘導などにも大変効果を発揮するものと期待しています。

元気に楽しく遊んでネ！

これからも「地域貢献」と川島仁一支店長「皆が未来を担っていく」と赤坂修社長

年少児・パンダ組のチビッコたち

あいさつする㈱常陽銀行の川島仁一・銚子支店長

㈱常陽銀行銚子支店の川島仁一支店長は、「今日は皆さんにお会いできるのをとても楽しみにしてきました。お散歩車とホームベンチは、ガラスリソーシングさんから皆さんへのプレゼントです。こちらを使って皆さん元気に楽しく遊んだりお散歩していただければ幸いです。また、地震など災害時の避難に大変役に立ちますので、どうぞ皆さんで使ってください」と語り、「ガラスリソーシングさんは地域のためにこれまでも様々な貢献をされています。今回はその貢献に常陽銀行として関われたことを大変嬉しく思います。これからもガラスリソーシングさんと同じく常陽銀行も地域の皆さんのために何ができるかを考えてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします」と呼びかけた。

ホームベンチの座り心地にご満悦！

自らを“おじいちゃん”と称し、子どもたちに優しく語りかける赤坂修・ガラスリソーシング㈱社長

ガラスリソーシング㈱の赤坂修社長は、「第四保育所の皆さん、こんにちは！入所児の皆さんは、このおじいちゃんやおじちゃんたちが何をしているか分からないよね？」と優しい笑顔で問いかけ、「皆は将来の銚子を担っていく貴重な人たち…そうか“担う”という言葉は分からないかナ？分かりやすく言えば“銚子を作っていく人たち”です。将来、大きくなった時に『小さい時、保育所におじいちゃんやおじちゃんがプレゼントしてくれたっけ』と思い出してくれ、自分も寄付したいと感じてもらえれば嬉しいです。銚子をどんどん良くできるよう、先生方のおっしゃることをよく聞いて健やかに成長してください」と子どもたちにエールを送った。

赤ちゃんたちが“おさんぽスワニー”に乗って出発進行！

このたびの温かい子どもたちへのプレゼントに心から感謝を表し、お礼のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

左から㈱常陽銀行の川島仁一・銚子支店長、赤坂修・ガラスリソーシング㈱社長、鶴見規行・㈱常陽銀行銚子市店長代理、ガラスリソーシング㈱の高沢敦志本部長

おさんぽスワニーに乗って出発する赤ちゃんたちに手を振るガラスリソーシング㈱の赤坂修社長ら

▼寄付の主旨

銚子市立第四保育所の児童が使用する「お散歩車」「ホームベンチ」を配備することで、災害時など避難の際に活用できるよう施設の環境整備に協力する。

▼贈呈品

①おさんぽスワニー（ノーパンクタイプ）6人乗り1台
②ホームベンチ4台

※ガラスリソーシング㈱は、昨年6月にも銚子市立第三保育所に㈱千葉興行銀行の私募債を活用して滑り台を寄贈している。

【常陽銀行　寄贈サービス付未来の夢応援債】

寄贈サービス付未来の夢応援債は、企業が発行する社債の元利金支払いについて、銀行や信用保証協会が保証を行なうことにより、無担保で社債発行を可能とするスキームで、一定の財務条件をクリアした財務基盤が良好な企業が発行できます。

未来の夢応援債は、企業が銀行保証付き私募債を発行する際、常陽銀行が受け取る手数料の一部で未来を担う子どもたちのための物品を購入し、企業が指定する保育所などに寄贈するサービスが付いた商品です。未来に向け夢を抱く子どもたちに支援をしたい企業様の地域への社会貢献をお手伝いしながら、企業様への安定した事業資金の供給を可能にしました。